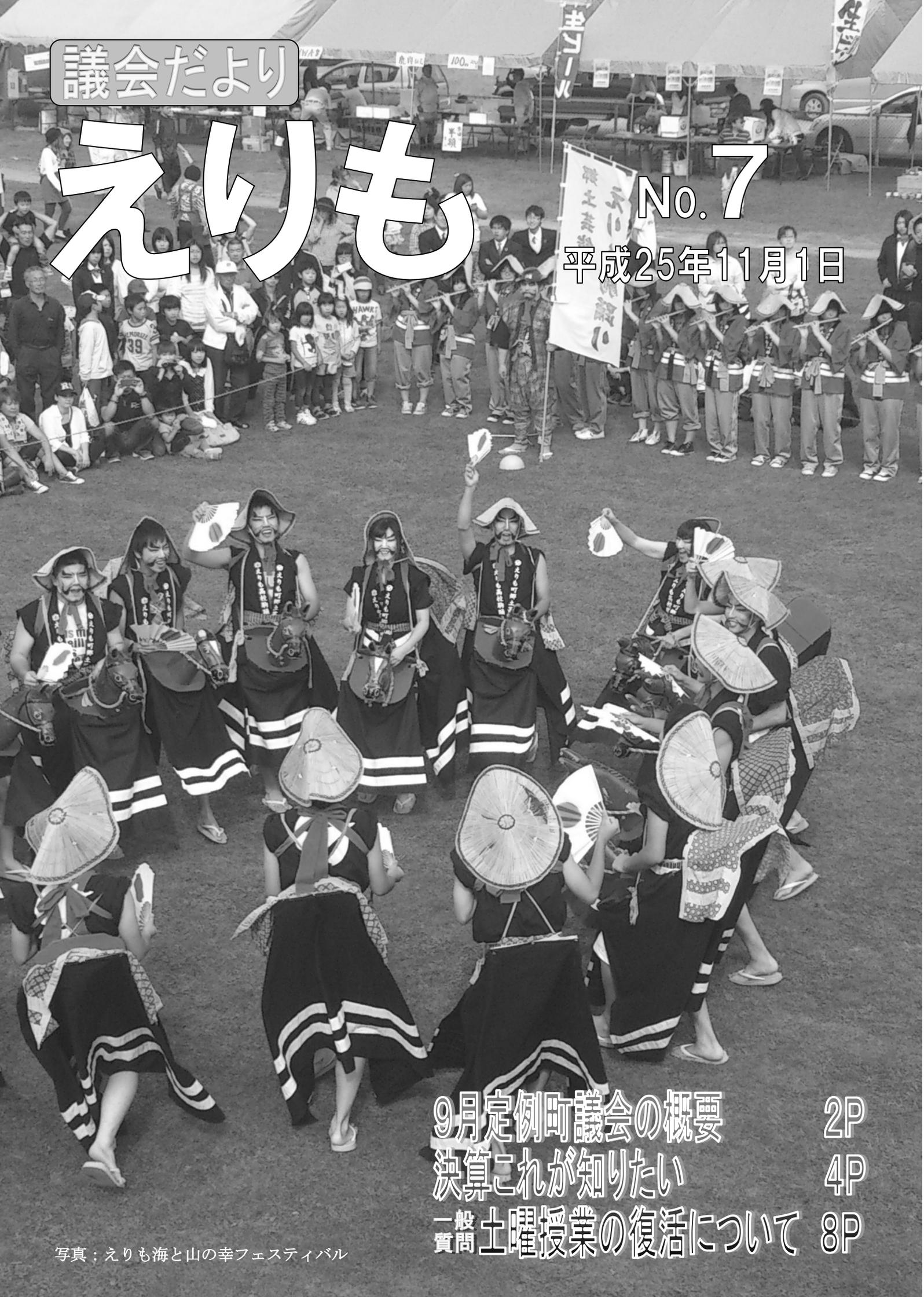


議会だより

# えりも

No. 7

平成25年11月1日



9月定例町議会の概要

2P

決算これが知りたい

4P

一般質問 土曜授業の復活について

8P

# 9月定例町議会

9月19日、20日に第4回定例会が開催され平成24年度決算の認定など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。また、一般質問では3人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

## 平成25年度

### 予算の補正

車両管理費 67万円

スクールバスの修繕料

機械器具費 2671万円

防災行政無線戸別受信機、1000台分の購入経費

高齢者センター費 13万円

老朽化のため修繕不能となった冷蔵庫の廃棄費用と新規購入経費

戸別受信機設置委託料 525万円

水産業振興費 170万円

災害用備蓄品 113万円

補助金

毛布等の購入経費

漁港管理費

191万円

共同作業所管理費 288万円

笛舞漁港係留施設の修繕やえりも岬漁港北防波堤新設等に伴う負担金

新浜生活改善センター屋根葺き替え工事、大和共同作業所暖房機器の修繕工事等

水産環境整備事業費

133万円

林業振興費

509万円

住宅管理費

40万円

エゾシカ捕獲頭数増加見込に係る捕獲奨励金と解体残渣運搬経費の追加計上

公営住宅ボイラー経年劣化のための新規購入経費

体育施設費 1050万円

スポーツ公園公衆トイレ新設工事、場所は国道側駐車場の上競技場付近

下水道建設費 800万円

スポーツ公園公衆トイレ新設に伴う下水道の整備。国道を横断させる工事のため、建設費は割高となる

## その他 協議事項等

えりも町防災行政無線の管理運営条例の一部改正

えりも町に住所があり希望する世帯に無料で貸与  
・受信機の貸与は一世帯一台  
・難聴地域は事業所（昆布小屋等）にも貸与

議件番号	議 件 名
報告第5号	定例出納検査の結果報告
議案第13号	えりも町防災行政無線の設置及び管理運営条例の一部を改正する条例
議案第14号	平成25年度えりも町一般会計予算の補正
議案第15号	平成25年度えりも町下水道特別会計予算の補正
議案第16号	平成25年度えりも町介護保険特別会計予算の補正
認定第1号	平成24年度えりも町一般会計歳入歳出決算の認定
認定第2号	平成24年度えりも町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
認定第3号	平成24年度えりも町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定
認定第4号	平成24年度えりも町診療所特別会計歳入歳出決算の認定
認定第5号	平成24年度えりも町下水道特別会計歳入歳出決算の認定
認定第6号	平成24年度えりも町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
認定第7号	平成24年度えりも町高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
報告第6号	平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告
議案第17号	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議
意見書案第1号	道州制導入に反対する意見書
承認第10号	所管事務調査

# 決算特別委員会

## を終えて

決算特別委員長

平野 正男



9月19日から2日間9月定例議会が開かれました。開会中に決算特別委員会が設置され、私が委員長の任に就く事となり緊張の中審議を進めさせていただきました。

決算審査とは前年度に行われた町の仕事や事務について予算通り行われたか、数字の照合はもちろん、事業の出来不出来について議事が審議をするものです。

今回は活発な質疑はありましたが、一般会計・特別会計ともに全会一致で認定されました。監査委員が主に数字上の監査をするのに対して、私達議員は町の仕事は本当に住民のためにやっているかという所に主眼を置いてチェックをします。決算の認定、不認

定は法的に行政をしぼるものではありませんが、間近に迫る予算の作成には大きな影響を与えるものと思います。

さて今回の定例会では浦河日赤病院の事が大きな話題となりました。日赤が管内各町から多額の寄付金を集めて改築中にもかかわらず、突然精神神経科の廃止を通告してきたからです。

えりも町では改築の負担金として3年間で約5千万円を支出します。また毎年350万余りの補助金、負担金を出しています。高齢化社会を迎え日高管内の中核を担うべき病院としては余りにも自覚がないと言わざるを得ません。

えりも町議会も「精神科廃止に反対する決議」をし、各町、各町議会と共に行動した結果、その後日赤病院側から明年の廃止については断念するという方針が伝えられた所であり、運動の成果が表れた形となりました。

これからも私達が住むこのえりも町が少しでも住み易い町になるように私を含め議会としても全力を尽くして参りますので町民各位の御意見、御要望をお寄せください。また、ご支援の程よろしくお願ひ致します。

(参考)  
浦河赤十字病院への支出

・ 広域救急医療

対策事業負担金

176万円

・ 看護専門学校運営補助金

67万円

・ 産婦人科医師派遣負担金

110万円

・ 増改築事業負担金

平成24年度分

2600万円

平成25年度分

1050万円



管内各町から上限19億円の補助を受けている浦河赤十字病院

# 平成24年度決算総括表

(単位：円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越額	実質収支
一般会計	4,908,151,968	4,878,433,291	29,718,677	12,509,000	17,209,677
国民健康保険特別会計	954,074,973	948,257,484	5,817,489		5,817,489
簡易水道特別会計	187,322,401	176,245,057	11,077,344	9,740,000	1,337,344
診療所特別会計	378,561,171	377,479,876	1,081,295		1,081,295
下水道特別会計	182,285,175	180,557,965	1,727,210		1,727,210
介護保険特別会計	342,303,537	338,912,614	3,390,923		3,390,923
後期高齢者医療特別会計	58,945,497	58,726,513	218,984		218,984

歳入総額49億 815万円：依存財源82.7% (地方交付税等) 自主財源17.3% (町税等)

歳出総額48億7843万円：人件費20.4% 普通建設事業18.0% 公債費17.0% 物件費13.4%  
繰出金9.3% 補助費等8.4% 扶助費5.2% 積立金3.6%  
維持補修費2.4% 貸付金2.3%

# 決算これが知りたい!

## 私たちが納めている町税の内訳は？      どんなことに使われたの？

区分	決算額	町民1人当たり
町民税	2億1,157万円	40,245円
固定資産税	1億3,857万円	26,359円
軽自動車税	959万円	1,824円
たばこ税	5,063万円	9,631円
合計	4億1,037万円	78,061円

### 町民1人当たりの支出額

借金の返済に（公債費）	157,506円
老人・児童福祉などに（民生費）	153,790円
道路・港湾の整備などに（土木費）	146,674円
町づくりや財産管理に（総務費）	122,343円
学校教育などに（教育費）	108,987円
農林水産業の振興などに（農林水産業費）	94,613円
保健医療やごみ処理などに（衛生費）	74,771円
消防・防災対策などに（消防費）	34,677円
観光振興や公園管理などに（商工費）	18,933円
町民による町づくりのために（議会費）	11,863円
労働者の福祉・支援に（労働費）	3,827円

※1人当たりの金額は、決算額（支払済額）を平成25年3月31日現在の人口5257人で割ったものです。

## 気になるあの施設の維持管理経費は？

(単位：千円)

	賃金等	需用費	役務費	委託料	使用料等	備品購入	その他	合計
役場庁舎		13,347		15,777	288			29,412
風の館	108	8,077	504	14,685	2,303	554	215	26,446
福祉センター		4,104	189	6,908	171	246		11,618
図書室	2,570	200	35	73		522	818	4,218
交流館ひなた		710	100	366		1,607	3,692	6,475
放課後児童クラブ	2,455	766	186		46	1,276		4,729
高齢者センター		6,476	178	7,512	22	24	60	14,272
温水プール		6,932	257	161	7		199	7,556
パークゴルフ場		311	34	4,887	9		286	5,527
キャンプ場		702	134	5,985	9		165	6,995
清掃センター		12,037	159	28,495	15		60	15,147
クリーンセンター		13,530	193	32,027		380		20,511
鹿肉解体処理施設		388	5,801	2,633				8,822
スポーツ公園		715	83	94	1,215	102		2,209
町民体育館		2,624	128	1,647	103		10	4,512
老人福祉寮ゆうゆう		3,232	41	4,005	14	86		7,378
ケアハウスいずみ				12,136				12,136
郷土資料館	459	3,367	335	7,679	185	547	1,655	14,227

※人件費（正職員）と公債費（借金返済）は含まれていません。

# 平成24年度

## 町内各団体への補助金はどのくらい？

補助金名	金額 千円	補助金名	金額 千円
婚活ツアー事業補助金	1,200	森林整備地域活動支援交付金	4,908
自治会活動振興交付金	578	えりも町栽培漁業振興協議会負担金	7,332
防犯街路灯電気料助成金	4,479	えりもさけます振興協会負担金	30
交通安全運動推進委員会交付金	800	救難所運営費助成金	450
えりも町民生委員協議会交付金	1,727	えりもうに祭り実行委員会補助金	200
えりも町社会福祉協議会補助金	11,000	漁業近代化資金利子補給金	3,933
えりも町遺族会補助金	30	ヒトデ駆除事業補助金	267
えりも町防犯協会補助金	50	えりも町商工会補助金	10,300
アイヌ協会えりも支部負担金	300	えりも町本町商店街協同組合補助金	350
防犯街路灯設置費補助金	287	プレミアム付き商品券発行事業補助金	5,190
身体障害者福祉協会補助金	72	えりも観光協会補助金	950
要介護人工透析患者移送事業助成金	9,083	えりもの灯台祭り負担金	4,000
老人クラブ補助金	950	住宅改修工事等補助金	7,481
介護保険ショートステイ事業補助金	8,147	私立幼稚園運営費補助金	2,500
介護保険デイサービス事業補助金	5,104	私立幼稚園就園奨励補助金	3,105
特別養護老人ホーム運営費補助金	481	生涯学習推進協議会補助金	750
特別養護老人ホーム補助金	16,632	PTA連合会補助金	130
開業歯科医師研究費補助金	100	幼児教育振興会補助金	120
庶野衛生協力会補助金	150	女性団体連絡協議会補助金	250
再利用資源回収奨励助成金	2,451	青少年健全育成会助成金	550
えりも海と山の幸フェスティバル負担金	600	青年団体連絡協議会助成金	140
えりも町黒毛和牛改良振興会補助金	90	青年団体連盟助成金	40
優良繁殖後継牛保留奨励補助金	480	文化協会補助金	780
軽種馬経営強化改善資金利子補給金	312	郷土芸能保存会助成金	100
えりも岬の緑を守る会補助金	60	襟裳神楽太鼓補助金	1,500
委嘱ハンター傷害保険料負担金	71	体育協会補助金	780
有害鳥獣駆除助成金	70	スポーツ少年団本部補助金	520
民有林公費造林振興対策事業補助金	1,000	スポーツ推進指導員協議会交付金	470
未来につなぐ森づくり推進事業補助金	3,691	各種全道大会派遣助成金	130

※広域、町職員関係、個人向け等の補助金は未掲載

# 一般質問

9月議会では3名の議員が登壇し町政に関する4件の課題について一般質問いたしました。

## 大坂庄吉議員



### 教育 土曜授業の復活について

問

土曜授業復活についてどう考えているか

答

文部科学省や道教委の動きを見守りたい

問

大坂議員 文部科学省が土曜授業の復活について検討作業を進める中、現行制度の下で「半ドン」を復活させる自治体が相次いでおり、多い学校では月に2回ほど週6日制となります。

①各校では地域の実情に合わせて実施日を決める等この土曜授業の賛否はあると思いますが、土曜授業の復活についてどのように受け止めているか、また今後

れることについて、どのようにお考えになつておられるのかお伺いいたします。

答

教育長 土曜授業の実施は今日的な課題である基礎学力問題や豊かな体験活動、授業時数の問題、そして家庭と地域の役割の現状と課題をしっかりと検討していくことが必要と考えております。

文部科学省では、全国一律での実施を見送り、判断を都道府県や市町村の教育委員会に委ねるとしていますが、現時点では、文部科学省が本年3月に「土曜授業に関する検討チーム」を開設し、土曜授業の在り方について検討を進め、年内を目途にその取組の成果が発表される予定となっております。

現時点では、これらの課題について、文部科学省がどのように分析、検証し、今後に向けた指針を公表するのか、そして、その通知を受けて北海道教育委員会が各市町村教委へ、どのような方向性を示すのか、その推移を見守る必要があると考えております。



心の教育と学力の向上を両立させる施策が必要

り、土曜日に実施することの是非を検討してまいりたいと考えております。

教科外の教育内容は、現在、教育課程の中に計画され、総合的な学習の時間などで実施されております。学校教育では教科外の教育活動が充分目的を達成しているかを検証すること。また、社会教育においては学校教育活動と社会教育活動の重点化や精選化を図ること、さらに土曜授業も含めて総合的に考えていくことが必要と考えております。

加えて、北海道教育委員会では、本年度から実施している「高校学力向上推進事業」において、試行的に土曜日の活用を行うこととして、道立高校5校を調査研究校に指定し、その成果を今後に生かしたい旨を9月道議会でも道教育長が答弁しておりますので、文部科学省の動向と合わせて、道教育長の意向を踏まえて検討してまいりたいと考えております。

また、当町の現状についても、今一度、学校週5日制の趣旨を踏まえた社会教育事業、少年団活動や、家庭・地域の役割等を振り返

学級閉鎖にかかわることについては、現在、年間授業日数、例えば、小学校であれば、低学年では、15日程度は予備があります。6年生では、7日間程度の予備があります。したがって学校は、その予備日の中で学級閉鎖等で欠けた授業日を計画しております。それ以上の学年、学校の臨休が生じたときには、長期休業中の日数から代替して、教育課程の実施に支障をきたさぬよう、学校運営を行っております。

## 高松亮裕議員



## 防災

大津波発生時における  
自治会の避難計画について

## 問

自治会ごとの避難計画が必要ではないか

## 答

情報提供など積極的に支援していきたい

## 問

高松議員 えりも町は、今年、津波ハザードマップを作成し全戸に配布をしました。

これによりますとえりも町に押し寄せると予想される津波の高さは、最大で29・8Mにも及び、第1波津波到達時間は早い地区では、24分まで到達するという結果が出ています。

摘の通りと考えております。

東日本大震災以降、防災対策の見直しが行われたことを受け、当町でも防災計画の見直しを進めております。

また、これに先行して、津波ハザードマップの作成や防災教育、避難所への備蓄食料や毛布の配置を行ってまいりました。

これに沿って、行政として避難経路緊急避難場所、避難収容施設、備蓄資材・食料などについて各自治会と十分協議し、自治会ごとの避難計画を作成することが急がれると思っております。お考えを伺います。

## 答

企画課長 町内地域ごとの津波避難計画の必要性は、ご指

今年度中には、新しい防災計画の作成に向けて防災会議の委員を中心とした検討を行い、地域ごとの津波避難計画についても早期に作成したいと考えております。

また、地域住民が主体的に作成する避難計画、避難マップ作りに関しても、情報提供など積極的な支援をしていきたいと思っております。

## 防災備蓄用品の現状と予定・町の基本的な考え方

- ①食料備蓄の方針として、3日分を用意することが前提となっておりますが、財政的なことから1・5日分を備蓄することとしています。
- ②備蓄用毛布は、1人1枚を目標に進めています。また、幼児用紙おむつについては、各保育所等への搬入となります。
- ③避難施設への搬入については、各自治会長等と協議して行っており、まだ搬入されていない地区については順次していきたいと思っております。

## 地区別防災備蓄用品の現状と予定

	灯油ストーブ	水	食糧	毛布	備考
近浦地区	2台	258本	822食	50枚	
笛舞地区	1台	無	無	無	
大和地区	2台	無	無	無	
新浜地区	1台	無	無	20枚	
歌別地区	2台	無	無	無	薪ストーブ1台
東洋地区	3台	無	無	無	
えりも岬地区	1台	未(852本)	未(2548食)	未(350枚)	H26年備蓄予定
庶野地区	4台	1080本	3240食	230枚	
目黒地区	2台	264本	774食	200枚	発電機2台設置済

# 手塚裕警議員



## 福祉

### 軽費老人ホームの拡充について

特養の増床が難しいのならば軽費老人ホームを

**問** 現時点ではそれも難しいと考えている

## 問

**手塚議員** 特養老人ホーム待機者の解消策としてケアホームいずみの介護機能を高めるといふ選択肢が現実的ではないかという答弁が3月議会でなされた。

待機者の解消に向けて具体的方策が町側から示されたことは大きな前進である。実現にあたっては財政面はもとより施設の利用変更などクリアしなければならぬ問題もあると思うが、課内一丸となりスピード感をもって進めていただきたい。

ケアホームや福祉寮は入居時には自立していても年を重ねるごとに介護が必要となってくる。退去基準の明確化や以後の受け入れ先といった課題もある。

① 現在いずみ、ゆうゆう、両施設においてBプラン（6か月以内の退去調整）に該当するものは何名いるか。

② 現在ケアホームいずみも老人福祉寮ゆうゆうも満室で、待機者もいることや、特養の増床は難しいことなどを考えると、新たな軽費老人ホームの設置もひとつの方策と考えるが、町はどう考えているか。

## 答

**保健福祉課長** 現在この両施設に入居されている方について

では、必要に応じまして介護認定調査を実施しております。この調査の中にあります。身体機能や社会生活への適応度などで構成される「中間評価項目得点」と障害自立度及び認知症自立

度からなる「日常生活自立度」とを組み合わせて、「入居可能・Aプラン・Bプラン・退去の4段階に分類しております。」

**Aプラン**.. 内部検討及び家族相談を行い今後予想される状況を共有する

**Bプラン**.. 概ね6か月以内の退去に向けた調整を開始し臨時的対応について協議を行う



介護型軽費老人ホームへの転換が図られるケアホームいずみ

軽費老人ホームは、60歳以上（夫婦の場合はどちらか一方が60歳以上）で身の回りのことは自分で対処することができるが、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことに不安があり、身寄りのない人または、家庭の事情等によって家族との同居が困難な方が入所する施設ですが、この軽費老人ホームを設置するに当たりましては、社会福祉法（第62条）の規定により、都道府県知事への届け出が必要になることから、北海道が示す「老人福祉施設整備方針」に基いて検討しなければならぬと考えております。

また、軽費老人ホームが設置の方向となった場合でも、整備計画の不採択や補助金の縮減などが十分に考えられますし更には経費老人ホームの設備及び運営に関する基準に示されております職員配置につきましても、その確保が難しい状況に変わりはございません。

以上のことから、現時点での軽費老人ホームの設置は大変難しいものであると考えております。

### 軽費老人ホームの種類

A型	家庭の事情で家族との同居が困難な人、身寄りのない人で、身のまわりのことが自分でできる人。給食型軽費老人ホームとも呼ばれる。（高齢者福祉寮ゆうゆう）
B型	家庭の事情で家族との同居が困難な人、身寄りのない人で、身のまわりのことや自炊ができる人。自炊型軽費老人ホームとも呼ばれる。
C型 一般型	自炊ができない程度の身体機能の低下や、独立して暮らすには不安があり、身のまわりのことが自分でできる人。一般型ケアハウスとも呼ばれる。（ケアホームいずみ）
C型 介護型	要介護1以上。介護型ケアハウスとも呼ばれる。

Bプランに該当となった方については、何らかの生活障害が進行している可能性が高いことから、その度合いに応じ、適切な施設や医療機関を紹介しておりますが、紹介した施設への入所に相当の日数を要する場合もございます。その際には家族支援や介護サービス量の増加を図る対応を取っておりますので、ご理解願います。

# 学校

## 小学校の給食について

給食実施に向けた取り組みはどうなっているか

各校の取りまとめが済み次第協議を始めたい

### 問

手塚議員 現在当町にある小学校5校のうち、えりも岬小学校と庶野小学校は学校給食を実施していない。これは両校とも校舎改築当時に給食実施の気運が低かったこと等が理由である。

### 答

学校教育課長 町の基本的な考え方については各校の要望を前向きに受け止め、PTA特に保護者の方々の意見を尊重し、財政的な課題はあるが子供たちのために最善の方法を見出していきたいというのが教育委員会の考え方である。

しかしながら、栄養バランスや食育への関心が高まる昨今、保護者の学校給食実施の気運も上がってきている。今年5月にはえりも岬小学校のPTAが町教委へ給食実施の要望を提出し、その記事が日高報知新聞にも掲載された。

それを受け、庶野地区においても現在、保護者への聞き取り調査が進められているという事である。

①町の基本的な考え方はどうか。

②自校給食やセンター方

自校給食の大きな長所は子供たちに温かい食べ物を提供できるということだが給食を調理するスペースを新たに作らなければならなく、学校の一部改修が必要になること、また、調理人確保の問題、教職員の事務

負担の増などがある。

センター方式は核となるな運搬車を揃えれば、これ以後の年間コストは自校式比べ軽減が図れるが、センター建設に大きな費用がかかる。また、運用面では、調理内容や時間の制約が大きいこと、食物アレルギーを持つ児童生徒個々の対応が難しいこと、冬期間の配達困難の恐れがあること、給食費徴収にかかわる学校間協議が必要なこと、などが上げられる。

既存設備の活用などについては例えば、岬地区を考えた場合、既に給食を行っている東洋小学校で調理し岬まで運搬するという事も考えられる。このことについては、教育長の教育行政報告において東洋小学校の今後について報告したが、地域の方々と協議が必要と認識している。

それぞれに共通した課題として子供のアレルギー対策や、栄養バランスのとれた献立作りを行うために場合によっては栄養教諭の複数配置等も考えなければならぬこと。

また学校給食の実施に当たっては、PTAを中心とした給食運営委員会がその中枢になるので、PTAの責任をもった運営が各校求められるということ等がある。

今後の検討は、各校の具体的な給食についての考え方が取りまとめられた段階で保護者を含めた学校関係者と懇談の機会を持ちたいと考える。

そこで、各地域の実情を考慮し、給食を実施するとすればどのような方法が最善なのかを協議し、その最善策に係る試算を行い、町と協議したい。そこで、給食実施の方向性が見出せたとき、具体的な運営に係る協議を進めたいと考える。



給食実施の気運が高まるえりも岬小学校

## 第4回子ども議会開催

熱く純粋な質問に大人はどう応えることができるのか！？  
どなたでも傍聴できますので、お気軽に御来場ください！

開催日 平成25年11月29日(金) 午後3時00分～午後4時30分  
会場 えりも町役場 議場  
子ども議員 11名(高校生3名・中学生3名・小学生5名)

# この人に聞く

航空自衛隊襟裳分屯基地司令

## 松野 弘明



昭和41年12月23日福岡県八女市に生まれ。防衛大学電気工学科卒。平成15年より防衛省航空幕僚監部勤務。平成25年7月からえりも勤務。妻と子供3人の5人家族。現在単身赴任中。

：最後に仕事に関しての抱負を聞かせてください。

松野 ツフを食べさせてもらったんですが、基地内で皆が勤務しやすい快適な環境づくりができています。美味しかったです。やはり外から来た人にとっては海産物ですね。東京の家族にも昆布などを送りました。

：えりもには来たばかりかと思いますが印象はどうですか？

松野 単身赴任が初めてですので、7月に来たばかりの時は毎日家族に電話してました。今はだいぶ慣れました。(笑)

自治会の夏祭りや神社の秋祭り等への参加を通じて色々な人に優しくしていただきまして。えりもの人達の人柄の良さを感じました。あとはやっぱり食や釣りなど体を動かす事がとてもおもしろいことかしたいです。

：趣味、または挑戦したいことはありますか？

松野 1人暮らしなので色々やりたいと考えています。パークゴルフ、山登り、スキー、釣りなど体を動かす事なので、是非楽しみたいと思っています。

(取材・手塚)

# 編集後記

食欲の秋、行楽の秋、読書の秋、などなど、のんびりするには良い季節だそうですが、容赦なく迫り来る寒さのせいで、そうそうのんびりもしてられません。

築40年を超えた我が家では寒さとの戦いがすでに始まり、窓に断熱シートを張って隙間にスポンジを挟んでみたり、人感センサー付き電気ヒーターを買い込んでみたり、夜遅くまで光熱費の計算を試みたり、快適かつ経済的な温度をいかに保つかに日々頭を悩ませる毎日です。

不思議なことに、今までは面倒だったこれらのことが最近には妙に楽しく感じます。一緒にいる人が常に笑顔でいられる環境を作ること、そのため試行錯誤をすることが、いまは一番面白いんです。それなのに、毎日喧嘩が絶えないのは、いったいなぜだろう…。(手塚)

# 議会の動き

- 8月20日 議会広報研修会
- 8月31日 日高東部3町議会議員・理事者親睦スポーツ大会
- 9月19日 全員協議会  
～20日 第4回定例会  
決算特別委員会  
広報特別委員会
- 9月25日 日高地区林活議連総会
- 9月26日 日高東部消防組合議会
- 10月7日 日高地区交通災害  
共済組合議会臨時会
- 10月10日 えりも町林活議連植樹
- 10月19日 広報特別委員会
- 10月25日 広報特別委員会
- 10月31日 合同所管事務調査

下記の2 常任委員会合同所管事務調査は次号に掲載いたします。

- ・教職員住宅建設事業及び管理状況
- ・スポーツ公園公衆トイレ新築工事
- ・本町墓地造成事業
- ・消防デジタル無線整備事業

### 総務文教常任委員会

- 委員長 川村 一治
  - 副委員長 平野 正男
  - 委員 石川 昭彦 高松 亮裕 笹谷 廣喜
- ### 産業民生常任委員会
- 委員長 上野 勝廣
  - 副委員長 大坂 庄吉
  - 委員 成田 一人 手塚 裕警 近藤 一郎
  - 議長 渡部 泰

### 議会広報特別委員会委員

- 委員長 石川 昭彦
- 副委員長 高松 亮裕
- 委員 大坂 庄吉
- 委員 笹谷 廣喜